

## 平成29年度 事業計画（案）

日本経済は、アベノミクスの様々な政策パッケージを展開してきた結果、デフレ脱却まであと一息と言われていますが、一方、足元では「潜在成長率」が0%台にまで低下し、「人口急減」と「地域の疲弊」という2つの大きな構造的な課題は、さらに深刻度を増しています。特に地方では「人手不足」、「生産性向上の停滞」、「後継者不足」等で事業者の減少も加速しており、地域を担う中小・零細企業などは成長の実感を得られていないのが現状です。しかしながら、砺波市においても昨年からの「となみ創生まちづくり総合戦略」や「第2次砺波市総合計画」に基づいた地方創生プロジェクトが具体的に動き出しており、商工会議所は地域のダイバーシティの中核となり、広域観光振興や農商工連携、地域資源や強みを活かした成長産業の育成など、域外の需要、消費、投資を取り込み、域内・地域で産んだ価値を域内・地域で消費する好循環を創出していかねばなりません。

当所では、議員改選を機に北村会頭による平成29～31年度3カ年の第22期会頭方針が発表され、「人材を育成して、となみの商工業の価値を創造しよう」のスローガンのもと、地方が抱える課題や社会的な要請を踏まえて、原点に戻り「会員のための会議所づくり」を最重点目標とし事業を進めます。また、目標達成のための課題として4つの推進課題を掲げました。一つ目は「設備、技術、サービスに投資をし、稼ぐ力の強化」です。言うまでも無く会員の持っている資源を最大限に発揮できるようその価値を上げるための「もの・かね・ひと・情報」の提供にあります。二つ目は「人材を育成して事業承継の推進」です。大きな問題となっている事業承継や青年部の育成、さらには人手不足の人材確保策などの展開です。三つ目は「市街地や地区組織の商業活性化の推進」です。商業の活性化は中心市街地だけの問題ではありません。地区商工団体等も疲弊している中で官民挙げて支援・模索することが大事と考えます。四つ目は「商工会議所の改善」です。職員のモチベーションアップや会員とのコミュニケーションの強化などのため、事務局体制の思い切った再構築を実施していきます。また、4月からは懸案で有りました専務理事を選任することといたしております。

商工会議所の役割は、現場の「喜び」を共有し、「悩み」については解決策の道筋を示し、必要により関係機関に発信すること、つまり「現場主義」と「双方向主義」を実践することにあります。

今こそ関係機関等ともさらなる協調をはかり、地域におけるまちづくりや地域商業・中心市街地の再生、さらには創業や事業承継の推進など「会員や地域から信頼され、期待される商工会議所」を目指して、役職員一丸となって実行するとともに、地域総合経済団体としての使命を認識し、生き活きとした地域と元気な会員事業所のため取り組んでまいります。

以下、平成29年度における事業方針は次の通りです。

## ★スローガン

人材を育成して

「となみの商工業の価値を創造しよう」

## ★重点目標

会員のための会議所づくり

## ★重点課題

- (1) 設備、技術、サービスに投資をし、稼ぐ力の強化
- (2) 人材を育成して事業承継の推進
- (3) 市街地や地区組織の商業活性化の推進
- (4) 商工会議所の改善

## 事業内容

### 1 会議所運営・活動に関する事項

- (1) 会員ニーズ・シーズの調査とデータベース化の実施
- (2) 会員交流会の実施（新春賀詞交歓会の継続）
- (3) 若手経営者による元気プランの支援
- (4) 駅前商店街のにぎわい創出の拠点づくりと事業の支援（テンバラなど）
- (5) やぐら大祭の実施
- (6) 砺波市出町子供歌舞伎曳山会館の継続運営
- (7) 地域商工業発展のために、意見の具申あるいは、建議・陳情・要望
- (8) 関係官庁の諮問に関する答申
- (9) 常議員会・正副会頭会議による会議所運営の推進
- (10) 委員会活動を通じて会員への情報提供や意見集約を推進
- (11) 会員増強等財政基盤の強化
- (12) 関係行政機関及び経済団体との連携強化
- (13) 商工会議所共済制度の普及と加入促進
- (14) 優良会員・優良従業員等の表彰
- (15) 事務局機構の確立と人材育成及び資質向上

### 2 広域連携の強化促進に関する事項

- (1) 庄川地区の商工業との交流事業の推進
- (2) 東海地域商工会議所や東海となみ会との交流事業の推進

- (3) 広域連携・広域経済交流の推進
  - ① 県西部地域団体に関する事業の推進
  - ② 能越商工観光懇談会に関する事業の推進
  - ③ 北陸新幹線沿線の首都圏地区との連携事業の検討

### 3 情報・調査広報に関する事項

- (1) 消費動向調査の実施
- (2) 商工会議所ホームページによる情報提供の推進
- (3) 会議所会報（月刊）の発行
- (4) 市民版広報「ton ami」の定期的発行
- (5) ニーズ調査によるタイムリーなメール情報の発信

### 4 中小企業相談所に関する事項

- (1) 伴奏型小規模事業者支援事業の実施
- (2) ワンストップビジネス総合支援を活かした他指導機関との差別化強化
- (3) 経営革新等認定機関や地域プラットホームによる専門家指導の推進
- (4) 中心市街地創造研究会による賑わい創出策の検討・推進
- (5) 重点指導事業所による経営支援モデルの検討
- (6) 経営革新・農商工連携における支援体制構築事業の利用促進
- (7) マル経等の各種融資制度の利用促進・事後指導の徹底
- (8) 記帳継続指導並びに税務相談の充実
- (9) ISO規格（9000、14000）認証取得のための支援
- (10) (財)富山県新世紀機構、技術基盤強化事業（とやまエキスパートバンク）との連携及び推進
- (11) 青年部、女性会の育成と事業活動の支援
- (12) 職員の資質向上のためのWEB研修の実施

### 5 各委員会として取り組む事項

#### ☆ 商業振興に関する事業

- (1) 活力ある商業環境づくりの推進
  - ① 市内事業者全体を纏める商業団体組織のあり方の検討と推進
  - ② 中心商店街の魅力ある店づくり・市場づくりの提言
  - ③ 空き店舗(家)活用の推進
  - ④ 昼夜の交流人口増加策の検討
  - ⑤ 市街地開発に伴う、市全体の商業環境のあり方について提言

- (2) 未来ある砺波市商業ビジョンの作成
- (3) 官公需の地元企業への発注に関する調査・提言
- (4) 行政との連携を密にした商業情報の共有化を図り、「創業塾の実施」・「個店革新・PR」・「事業計画策定」の推進
- (5) 商店経営の活性化に関する講演・講習会など人づくり・後継者対策の推進

#### ☆ 中小企業振興に関する事業

- (1) 中小企業向け支援策・融資制度の調査、情報収集・発信、支援の実施及び関係機関との連携
- (2) 中小企業・小規模事業者の人材確保に向けての支援策の研究・検討
- (3) IT、IoT、AI等、新事業・次世代産業への取組みの研究
- (4) 地域産業振興につながる産業フェア開催に向けての研究・準備及び販路開拓、ビジネス交流の推進
- (5) 「ハイテク・ミニ企業団地」の運営、入居者支援育成及び新たな起業家の発掘

#### ☆ 観光交通に関する事業

- (1) 地域資源の有効活用による交流・滞在人口増加策の推進
  - ①夜高行事の観光客誘致モデル事業と広域夜高まつりの啓蒙・推進
  - ②ローコスト滞在型の「クラブキャンプ」の誘致検討
  - ③散居村を活用した観光モデル事業の推進（10WAVEプロジェクト）
- (2) JR城端線・市営バス・路線バス等の利用促進及び新路線の検討推進
- (3) 伝統文化事業への支援・協力（子供歌舞伎・夜高・獅子舞など）
- (4) 広域観光・交流観光の推進と連携の強化

#### ☆ 地域開発に関する事項

- (1) 砺波市の交流・定住人口増加のための研究と推進
  - ・コンベンション、合宿等の誘致に向けた整備促進と誘致施策の研究
- (2) 特急サンダーバードと高速バスの乗り継ぎ向上に関する調査・研究
- (3) 空き家対策と利活用に関する研究
- (4) 主要地方道砺波小矢部線の整備促進
- (5) 砺波市と民間企業との協働に関する調査・研究
- (6) 「孫とお出かけ支援事業」の県内対象施設を巡回するバス運行に関する研究

## 6 その他の事項

- (1) 実務教育の振興・推進（各種検定事業の実施）
- (2) 事務改善についての研究
- (3) その他本商工会議所の目的達成に必要な事業